

2022年3月18日

## SUBARU カーボンニュートラル燃料を使用するSUBARU BRZで スーパー耐久シリーズ2022へ参戦

～モータースポーツの現場で SUBARUらしいクルマづくりを加速させるエンジニアを育成～

SUBARUは、2022年3月19日・20日に行われる「ENEOS スーパー耐久シリーズ2022 Powered by Hankook 第1戦 SUZUKA 5時間耐久レース」に、「SUBARU BRZ」をベースとしたカーボンニュートラル燃料を使用する車両で参戦\*1します。



「Team SDA Engineering BRZ CNF Concept」

内燃機関を活用した燃料の選択肢を広げる挑戦として、カーボンニュートラル燃料を使用した車両でスーパー耐久シリーズ2022に参戦。トヨタと協調し且つ競いながら、モータースポーツで求められる短いサイクルで仮説と検証を繰り返すというアジャイルな開発を通じてエンジニアを育成し、「モータースポーツを起点としたもったいいクルマづくりを進めるとともに、カーボンニュートラル社会の実現を目指します。

これまで進めてきた参戦車両の開発では、SUBARU技術本部のエンジニアが100名以上参加。若手社員を中心に、部署の垣根を越えて、1つの目標に向けてチャレンジする風土が醸成されています。

### <チーム概要>

チーム名:「Team SDA\*2 Engineering」

参加車両名称:「Team SDA Engineering BRZ CNF Concept」

参加車両:SUBARU BRZ(カーボンニュートラル燃料仕様)

クラス:ST-Qクラス\*3

監督:本井雅人(当社 スバル研究実験センター長)

チーフエンジニア:竹内源樹(当社 ボディ設計部)

ドライバー:廣田光一(当社 車両運動開発部)、井口卓人、山内英輝

車両の特長:SUBARU BRZをベースにした、カーボンニュートラル燃料を使用するスーパー耐久仕様車。

SUBARU 技術本部のエンジニアが中心となって製作したこの車両は、量産車技術の延長線上でレースにどこまで対応できるかを試すため、改造は最小限に留めています。また、レース車両として必須の装備であるロールケージは、将来的にアイサイトのステレオカメラを活用することも視野に入れた形状です。

ボディのカラーリングは、SUBARU エンジニアの情熱を象徴するブルーの炎と、カーボンニュートラル燃料を象徴するグリーンの炎をモチーフとしています。



使用する燃料: 今回当社が使用する燃料は、二酸化炭素と水素、その他一部非食用のバイオマスなどを由来とした成分を、ガソリンの JIS 規格にマッチさせるように合成して製造された燃料です。燃焼時の二酸化炭素の排出量はプラスマイナスゼロとなると考えられており、カーボンニュートラル実現のための手段の一つとして注目されています。

原料となる各成分を全て再生可能エネルギー由来のもので作成し、製造・輸送過程での CO2 排出をゼロとした場合は、完全なカーボンニュートラル燃料と呼ぶことができます。今回使用する燃料は、製造・輸送過程での CO2 排出があるため厳密にはカーボンニュートラルではありませんが、将来的にはそれらを含めた完全なカーボンニュートラル燃料を目指しています。



「Team SDA Engineering BRZ CNF Concept」  
燃料供給システム



「Team SDA Engineering」メンバー

\*1: スーパー耐久シリーズ 2022 のスケジュール <https://supertaiky.com/schedule-2022/>

\*2: スバル ドライビング アカデミー: SUBARU エンジニアの運転スキルと評価能力を高める人材育成の取り組み  
詳しくはこちら <https://www.subaru.jp/onlinemuseum/gears/article02/index.html>

\*3: スーパー耐久機構事務局 (STO) が参加を認めたメーカー開発車両、または各クラスに該当しない車両